

## 道徳部の活動報告

1 研究主題 道徳的実践力を育てる指導法の工夫



2 研究の概要

(1) 第1回部会

- ① 日時 6月1日(水)午後3時15分～4時40分
- ② 会場 燕市立吉田小学校
- ③ 内容 講義・演習 (講師：県立教育センター指導主事 丸山 辰志 様)

〈演習〉

- 演習テーマ「全校体制で道徳の時間の充実を図るには」について、方策を3つ付箋紙に書いて、ワークシートに貼る。(実現の可能性や常識にとらわれない思いつきでもよい。)グループで付箋紙をカテゴリーごとに整理して、大洋紙に貼ってカテゴリー名を付ける。カテゴリーごとの関係性を矢印で表し、より根本的な方策を探る。実現可能な有効な案が出され、参考になった。

〈講義〉

- 講義テーマ「全校体制で道徳の時間の充実を図るには」
  - ・ 道徳的実践は水面下の実践力に支えられている。この水面下の部分を大きくし、安定させるのが「道徳の時間」の役割であるなど「道徳の時間」の充実について講義していただいた。

(2) 第2回部会

- ① 日時 11月30日(水)午後1時55分～4時30分
- ② 会場 燕市立燕南小学校
- ③ 内容 授業研究・協議会 (授業者：燕南小学校6年担任 教諭 田村 克夫)

〈授業公開〉

- 主題名「いつか冷たい雨が 3—(1) 生命尊重」

〈協議〉

- 教材(歌詞、スライド)について
  - ・ 心に強く訴える資料であり、学習過程だったので、心情面では有効だった。動物愛護センターのスライドによって、児童は「かわいそう」という感情だけを強くしたかもしれない。このスライドを、どの場面で使うのが難しい。
  - ・ 「作者は？」という資料解釈ではなく、「自分は？」という聞き方が必要である。資料から離れて、児童の生活場面で考えてみるのがあってもよかった。
- 道徳的実践力を育てる指導法の工夫について
  - ・ 実践力は心情、判断力、意欲のトータルと考えると心情面で児童が価値を感じ取っていたので本時は研究テーマに迫っていたと考えられる。

